

No.37

明日への扉

人との出会いが 私のエネルギー

鈴木 真奈美 さん



京町通りを飲み歩く「ぶらり京町ガラポンツアー」で進行を務める鈴さん。にぎやかな京町通りを日常化するため、イベント開催をはじめ、平成30年2月にオープン予定の商業施設「京町わんど」のテナントの出店希望者の支援にも当たる。

昭和61年錦江町(旧大根占町)生まれ。鹿屋高校、県立長崎シーボルト大学(現在は長崎県立大学と統合)看護栄養学部を卒業後、平成21年看護教諭として県内の小学校に勤務。平成29年3月に退職し、同年4月株式会社大隅家守舎(寿3丁目)に就職。(31歳)

大学卒業後、中学生の時から目標としていた養護教諭となり、県内の小学校に勤務しました。働く中で、「食育」の大切さを知り、個人的に勉強を始めました。それから、生産者となつたりしたいという気持ちも芽生え、「食」のイベントのボランティアに携わるようになりました。そうしているうちに、次第にイベントそのものや、まちづくりにについても面白さを感じてきました。いつか「食育」と地域をつなげて何かやりたい…。そんな時に知ったのが、「鹿児島移住ドラフト会議」でした。これは近い将来移住を希望する人と、移住に積極的な地域コミュニティとのマッチングを提供するイベント。平成28年4月、自分を試してみたいと思い、このイベントにエントリーし、自らの思いややりたいことをアピールしました。そこで私を指名してくれたのが、現在の勤め先である鹿屋市の民間まちづくり会社「株式会社大隅家守舎」でした。

指名されてからの1年間は、見識を深めるため、週末の度に、県内外の各地を飛び回り、いろんな人に会い、様々なことを学びました。そして、今年3月、養護教諭を退職。大隅家守舎へ転職したのです。会社での主な業務は、飲み歩きツアー「ぶらり京町ガラポンツアー」や、参加者同士と一緒に朝食を取る「京町あさの会」など、京町通りを活性化させる仕組みづくりとしての各イベントの開催や、月1回城山公園で開催するマーケット「食と暮らしのマルクト@おおすすめ」の運営。このほか、鹿屋・大隅の情報発信ブログ「さるつが」の取材・執筆も行っています。大変な業務ですが、普通の生活では知ることができない場所に行くことができたり、多くの人に出会えたりすることが魅力。学べることの楽しさを感じています。

経験を通して感じるのですが、学生時代にはいろんなものを見て、いろんな人に会って、いろんなことを感じるのが大事だなと思います。そして、自分の暮らしを見つめ直せば、たくさんの可能性に気付くような気がします。

将来の夢は、やはり「食育」による地域づくり。自分の食べるものは自分でしっかり選べる子どもたちが育つような、また日常の中で子どもたちが「食」に関するスキルや考え方を、背景を知れるような、一過性で終わらない、地域に根ざした場をつくりたいと考えています。大きな目標ですが、鹿屋で実現させたいと思っています。

鈴 真奈美さんが出演
FMかのや(7・2MHz)
12月25日(月)9時5分から
(予定)